

臨牀消化器内科11月号<特集：除菌後時代を迎えた胃癌診療—残された課題を巡って>を皆様のお手許に御届けする。H. pylori の発見がもたらした最大級の paradigm shift, すなわち、胃癌は感染症。この結果、H. pylori 除菌により胃癌発症を抑えることができると思うのは、一見、理にかなった至極真つ当な考え方に見える。そして、比較的経済的に余裕がある(?)わが国の胃癌撲滅をめざした、除菌療法の保険適用と普及・展開。しかし、本特集掲載の水野論文で明らかに示されているように、除菌後最長 21.4 年(平均 7.1 年)に及ぶ経過観察の結果は、事実はその単純ではなく、除菌後も相変わらず胃癌が高頻度で発生してくることが改めて確認される。そして、着実に増加の一途を辿る除菌後胃癌に加え、これまで H. pylori の陰に隠れ目立たない存在であった種々の H. pylori 未感染胃癌が、その姿を見せ始めている。これまでの経験則だけでは切り抜けることの難しい、新たな戦いがすでに始まっているのである。一方、本特集をご覧になっておわかりのとおり、この国の内視鏡医が得意とする注意深い観察と分析により、除菌に伴う胃の形態学的変化・発生胃癌の理解に基づいて、徐々に難敵に対する対策が立ち上がりつつある。また、H. pylori 未感染胃癌に関する知見もかなり整理され、理解しやすくなってきたのを感じられることと思う。多忙を極める消化器診療の傍ら、積み上げられた貴重な知見を価値ある原稿にまとめ、お寄せくださった執筆者の先生方に篤く御礼申し上げる次第である。本特集が、新たな局面を迎えた胃癌診療の前線に身を投じられている先生方にとって、頼れる道標としてお役に立つことを心より祈念するものである。

(一瀬 雅夫)

臨牀 消化器内科® Vol. 35 No. 12

©2020 年 10 月 20 日発行

定価(本体 3,000 円 + 税)

年間予約購読は前金にて書店あるいは弊社宛お申し込み下さい。ただし、年間購読料は年度により異なりますので、書店または弊社までお問い合わせ下さい。

発行人 増 永 和 也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-64 神保町協和ビル

営業直通電話(03)3291-3901(代) FAX(03)3291-3904

e-mail info@nmckk.co.jp

編集直通電話(03)3291-3971(代) FAX(03)3291-3377

e-mail gastro@nmckk.co.jp

郵便振替 00110-2-80695

印刷所 三報社印刷株式会社

・ Published by Nihon Medical Center, Inc. ©2020, Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)日本メディカルセンターが保有します。

・ JCOPY <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

■ 広告申込所 / 日本医学広告社

〒102-0071 東京都千代田区富士見 2-12-8 電話 03-5226-2791